

## 射水市教育委員会 5 月定例会会議録

開会日時 平成 27 年 5 月 27 日 (水)

開会 午前 10 時 30 分

閉会 午前 11 時 40 分

会議場所 新湊中学校会議室

出席委員

長井教育長、織田委員、宮原委員、眞岸委員

会議事件説明員

尾山教育次長、成田教育次長、原学校教育課長、荒谷生涯学習・スポーツ課長、  
沢田教育センター所長、日下給食センター所長、原田新湊博物館長、杉高学校教育課主幹、  
杉本中央図書館長、塩谷学校教育課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前 10 時 30 分、教育長が開会を宣した。

### 1 会議録の承認

承認された。

### 2 教育長の報告

(1) 射水市議会 6 月定例会会期日程について

教育長が資料 1 に基づき説明した。

### 3 協議事項

(1) 平成 28 年度使用教科書の採択について (諮問)

学校教育課長が資料 2 に基づき説明した。

(2) 富山国際大学子ども育成学部との教育に関する連携協定の締結について

学校教育課長が資料 3 に基づき説明した。

### 4 各課等の報告事項

(1) 平成 27 年度教育委員会教育次長「政策宣言」について

教育次長が資料 3 に基づき説明した。

(2) 教育相談事業及び適応指導教室「いみずの」について [教育センター]

教育センター所長が資料 4 に基づき説明した。

(3) 教育委員会行事予定

学校教育課長補佐が資料 5 に基づき説明した。

(4) 平成 27 年度 射水市マイスター教員について

教育次長が資料に基づき説明した。

## 5 その他

次回教育委員会の定例会開催日時について

日時・場所は、6月26日（金）午前9時15分から堀岡小学校を学校訪問  
午前10時30分から同場所で会議

## 6 議事

### (1) 富山国際大学子ども育成学部との教育に関する連携協定の締結について

[委員] 学生の協力だけでなく、大学の教授の協力も得られることがあればよいと考える。

[事務局] これまでも学識経験者ということで、審議会等で出席していただいている。これからも、大学側に協力を依頼して進めていきたい。

### (2) 平成27年度教育委員会教育次長「政策宣言」について

[委員] 施策が進むように、現場に指示を具体的にだしていかれたい。

グリーンカーテンなど環境教育も大切。牛乳パックのリサイクルも環境教育の一環として進めていけばよいと考える。

[事務局] 牛乳パックの再利用については、環境教育にも有効と考える。洗うこと、におい、保管など課題もあるが、小学校で試験的に行っていききたい。

[教育長] リサイクルすることで、再生紙やトイレットペーパーになり、それらが木材だとどれだけの量になるのかなど、環境と行動とをどう関係づけて子どもたちに実感させるのが大事である。

### (3) 教育相談事業及び適応指導教室「いみずの」について

[委員] 学校訪問回数はスクールカウンセラーの訪問回数だけでなく、教育センター職員も学校のケース会議に出席されていることから、その回数も含めればどうか。チームとして動いているという実績になると考える。

[事務局] スクールソーシャルワーカーが熱心に活動し、スクールカウンセラーに相談、繋いでいるため、来所相談件数が増えている。

[委員] 数値にはいろいろな方々の努力がある。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの数値しかないが、関わっている実態をしっかりとあげたほうが良いと考える。

活動回数が減っていても子どもたちが抱える課題は、複雑化・多様化している。スクールソーシャルワーカーの活動も広範囲なものが求められてきている。

[委員] 回数だけでは表しきれないものがある。1回の対応時間が長時間になる場合もある。国の審議会でもスクールソーシャルワーカーの全校配置も言われている。

[事務局] 生徒指導において、県費ではスクールカウンセラーや教育事務所カウンセラー等がある。市費ではスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーもいるが、県・市費併せた勤務時間トータルでH26に比較しH27は約100時間強増えている状況である。なお不足と言うことであれば、今後検討していきたい。

[教育長] 不登校からの復帰も多くなっているとのことだが、不登校から復帰できずに悩む子どもたち、家庭に対して、何をすればよいのかが問われていくものとも考える。現段階の相談体制がフル活動しながらも、まだ不登校者はいる。その子どもたちにどう関わっていけるのか、市当局や県に要望していくのか、民間の活動との連携も考えていく必要がある。

子どもたちの身近にいる教員の質の向上が大切であり、併せて行われるものと考え  
る。

(4) 平成 27 年度 射水市マイスター教員について

[教育長] マイスター自身も育てほしいという委員の意見もあった。互いに刺激し合って伸  
びてほしいという機会も必要だということで、「授業の ABC」というものを相談し合っ  
て作り上げていく過程で、何が授業で大事なのか、これを射水の教員は全員がきちんと  
やるということを相談して決めていく。それにより、自分たちも力をつけていってもら  
うといったことを委員の意見を踏まえて検討したところである。

[事務局] マイスターの任命については、5 月 25 日に行い、引き続き研修会を行った。

午前 11 時 40 分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。